

# 学位授与方針（ディプロマ・ポリシー）

## （国際文化学部）

平成 29 年(2017 年)5 月 1 日現在

### 1. 国際文化学科の学位授与方針(ディプロマ・ポリシー)

#### 【知識・理解】

多様な文化理解の視点から、他者を尊重しつつ、自己を主張するための知識を身につけている。

国際文化学科では、文化とは、人間の行為によって生まれるすべての事象（文学、芸術のほか、政治、経済、宗教など）と定義します。グローバル化する国際社会において、私たちは自己の文化だけではなく、様々な他者の文化に向き合うことが求められています。その場合、私たちには他者の文化を自己の文化と同じように尊重し、文化を自己の視点からだけではなく様々な視点から理解する態度が必要となり、その上で、自己の文化に基いて自己の意見の主張を行い、他者に理解を求めてゆくこととなります。国際文化学科における学びの基礎として、文化に対してこのように向き合うための知識を身につけます。

#### 【技術（技能）】

グローバルな言語状況に適応し、文化の壁を越えて情報を集め、新たなかたちに構築し発信する技術を身につけている。

言語は、文化を表現する最も重要な手段のひとつです。グローバル化する国際社会において、特にアジアにおいて、私たちは、母語だけではなく、外国語（英語、中国語、韓国語など）を運用する能力を身につけることが求められています。その能力を用いれば、その国や地域の文化を、他者の手になる翻訳によるのではなく、自分自身が直接その国や地域の言語によって理解することができます。その確かな理解に基づき、自己の視点から、他の国や地域の文化に関する情報を再構築し、新たなものとして発信するのに必要な技術を身につけます。

#### 【交流力（思考・判断・表現）】

文化の違いを越えて得た思考力と適確な判断力を統合して、未来に向けて人々と交流する力を身につけている。

文化の違いは、国や地域や民族というレベルだけでなく、それより小さな集団、例えば、居住する地域、所属するコミュニティ、さらには世代や個人というレベルでもとらえることができます。文化が多様化する社会においては、そういった様々なレベルの異なる文化に向き合う必要があります。そしてそれらの文化に関わり、そこから学んだ知識や技術を応用して、社会において様々な企画や提言を行ない、交流できる能力を身につけます。

#### 【対応力（関心・意欲・態度）】

文化の違いを越えた対話に関心と意欲をもち、課題解決のチームワークができる態度を身につけている。

文化の異なる自己と他者が相互に理解しあうためには、前提として、寛容性をもち、ねばり強く対話を行うことが最も重要な前提となります。この対話を通じて、それぞれの文化の特性や異なる文化の間に存在する課題が明らかになります。そして、その課題を相互に有意義なかたちで解決するためには、自己のみではなく、異なる文化を持つ他者との協力関係によって、取り組むことが求められます。このようなチームワークができる態度を身につけます。

#### 【行動力（実践・協働）】

多様な文化や価値を前提として人々と協働し、地域の特色や魅力を国内外にうち出す行動力を身につけている。

グローバル化する社会においては、ますます多様化する文化や価値観の理解を前提とした課題解決が求められています。身近な地域との関係においても、お互いに文化や価値が異なっているのだということを前提に、相互に協力して行動することが必要とされています。そのような協力関係のもと、地域の取り組みや提言をまとめて、地域の特色、魅力として、国内外に打ち出すという、私たちに求められている行動力やリーダーシップを身につけます。

## 2. 文化創造学科の学位授与方針(ディプロマ・ポリシー)

#### 【態度】

みずからが暮らす地域コミュニティや働くフィールドで、対話と協調に基づいたパートナーシップを尊重する態度が身につけている。

学内外を問わず、コミュニケーション力やマネジメント力を高め、みずからの意志による対話と協調に基づくパートナーシップを尊重する態度を身につけることとなります。そのため、現代社会の様々な問題に関心を持ち、日本文化やデザインなどの観点から、みずからの意見を的確に主張するとともに、多様な立場の人と協同する態度を身につけています。

#### 【知識】

歴史的な文脈を意識しながら、知的好奇心を養い、みずからの文化や芸術さらに地域文化についての知識を身につけている。

在学時のみならず、卒業後も、歴史的な文脈を意識しながら、みずからの文化や芸術そして地域の特色ある文化について学び、生涯にわたって知的好奇心を持って継続的に知識を深めていきます。具体的には、日本語読解力および芸術文化についての鑑賞力等を有し、ことばやデザインを用いてみずからの意見やアイデアを表現し、他者の意見を尊重しつつ、みずからを主張できる見識をもつこととなります。

#### 【技術】

日常生活のなかで積極的に情報や資料にふれ、みずからのアイデアを効果的に表現し、発信する技術を身につけている。

国際的な視野に立って自文化を深く理解し、地域の特性を尊重した新しい地域文化や生活文化の再発見・創造・発信への関心を深めます。そのために必要な技術として、リサーチ力、情報処理能力、外国語運用能力、プレゼンテーション能力を身につけます。さらにはそれら

をともに活用することで、日常生活のなかで多くの情報や資料にふれ、取り組むべき課題を見出し、解決するためのアイデアを言語やイメージを用いて効果的に表現し、発信することができます。

### 【創造】

柔軟な発想力を備えつつ、伝統的な価値を再発見し、また未来に資する価値をかたちづくるような創造活動を営んでいくことができる。

習得した知識や技術を積極的に駆使して、地域の内外に広がる歴史・文化・表現について、その伝統的な価値や文化の意義を見出すための課題発見力を養います。さらに、こうした見出された価値について、自分自身をなかだちとしながら企画提案力を発揮し、地域社会の未来に資するような文化的な価値や表現をかたちづくります。そして強い追求力で、過去から現在、未来へと、みずからの文化を手渡すような文化創造活動を営んでいきます。

### 【行動】

みずからが暮らす地域コミュニティや働くフィールドで、解決すべき課題と果たすべき役割を発見し、責任感を持って行動することができる。

地域コミュニティや働くフィールドとは、公私問わず、人が暮らし生きていく「場」すべてのことであり、冷静さを失わずに、解決すべき課題は何かを問い続ける力を養います。そして、みずからが果たすべき役割を見つけた上で、途中で投げ出すことなく、みずからの行動に責任をもちながら、周囲の人と協力して問題を解決しようとする意志をもつことができます。

# 卒業または修了の認定に当たっての基準（国際文化学部）

平成29年（2017年）5月1日現在

## 国際文化学科 卒業要件

学則第60条の規定による卒業に必要な単位は124単位です。その内訳は以下のとおりです。

### <基礎教養科目群>

基盤科目群	22単位以上	合計36単位以上
初年次教育	必修2単位	
情報教育	4単位（必修4単位を含む）以上	
言語教育	選択16単位以上（注1・2）	
科学基礎科目群	6単位以上	
社会科学系	選択2単位以上	
自然科学系	選択2単位以上	
人文科学系	選択2単位以上	
統合科学科目群	8単位以上（注3）	
統合科学	選択2単位以上	
実践統合科学	2単位（必修2単位を含む）以上	
ライフスキル	選択2単位以上	

### <専門教育科目群>

学部基幹科目	8単位	合計88単位以上
	必修8単位	
学科基幹科目	8単位	
	必修8単位	
学科基礎科目	22単位以上	
	必修4単位	
	選択18単位以上	
演習科目	12単位	
	必修12単位	
展開科目	26単位以上	
	選択26単位以上	
関連科目	12単位以上（注4）	
	選択12単位以上	
合計	124単位以上（注5）	

（注1）「アドバンス英語Ⅰ・Ⅱ」、「検定英語Ⅰ～Ⅳ」から8単位以上修得すること。

（注2）初修言語及び認定言語は、「外国人のための日本語Ⅰ・Ⅱ」の8単位、又は「中国語Ⅰ・Ⅱ」「検定中国語Ⅰ～Ⅳ」からの8単位、又は「韓国語Ⅰ・Ⅱ」「検定韓国語Ⅰ～Ⅳ」からの8単位を含む8単位以上を修得すること。ただし、母語は履修できない。

（注3）「地域共生論」、「やまぐちの歴史と文化」、「地域環境論」、「地域共生演習」、「地域学」、「ボランティア」から2単位以上を含めること。

（注4）「関連科目」に掲げた科目以外の国際文化学科の全ての科目、文化創造学科の専門教育科目群の科目及び交換留学又は単位互換により修得した科目を関連科目に含めることができる。

（注5）自由科目は卒業単位に算入できない。

## 文化創造学科 卒業要件

学則第60条の規定による卒業に必要な単位は124単位です。その内訳は以下のとおりです。

### <基礎教養科目群>

基盤科目群	14単位以上	合計34単位以上
初年次教育	必修2単位	
情報教育	4単位（必修4単位を含む）以上	
言語教育	8単位以上（注1）	
英語	必修8単位	
科学基礎科目群	12単位以上	
社会科学系	選択4単位以上	
自然科学系	選択2単位以上	
人文科学系	選択4単位以上	
芸術系	選択2単位以上	
統合科学科目群	8単位以上（注2）	
統合科学	選択4単位以上	
実践統合科学	2単位（必修2単位を含む）以上	
ライフスキル	選択2単位以上	

### <専門教育科目群>

学部基幹科目	8単位	合計90単位以上
	必修8単位	
学科基幹科目	8単位	
	必修8単位	
学科基礎科目	12単位以上	
	選択12単位以上	
演習科目	14単位	
	必修14単位	
展開科目	36単位以上	
	選択36単位以上	
関連科目	12単位以上（注3）	
	選択12単位以上	

合計……………124単位以上（注4）

（注1）外国人留学生にあつては、英語に代えて初修言語の「外国人のための日本語Ⅰ・Ⅱ」を修得すること。

（注2）「地域共生論」「やまぐちの歴史と文化」「地域環境論」「地域共生演習」「地域学」「ボランティア」から2単位以上を含めること。

（注3）「関連科目」に掲げた科目以外の文化創造学科の全ての科目、国際文化学科の専門教育科目群の科目及び交換留学又は単位互換により修得した科目を関連科目に含めることができる。

（注4）自由科目は卒業単位の算入できない。